

令和 5 年度熱中症対策推進検討会、ワーキング・グループ等の体制（案）

| | 目的 | 人数 | 専門分野 | 開催形式 |
|----------------------|---|-------------------------------|--|---------------|
| 熱中症対策推進検討会 | 技術的とりまとめ （成果物想定：熱中症特別警戒情報の運用に関する指針、指定暑熱避難施設の指定・設置及び運営に関する手引き等） | 14 名＋令和 5 年度新規 1 名追加 | 現在 （医療（救急医療等） 4 名、 気象 3 名、行政 2 名、スポーツ 2 名、 環境保健 1 名、防災情報 1 名、法律 1 名） ＋新規（災害医療 1 名） | ハイブリッド 公開 |
| ワーキング・グループ （会議開催） | 上記の素案作成 （①熱中症特別警戒情報の運用に関する指針、②指定暑熱避難施設の指定・設置及び運営に関する手引き等を想定） | 延べ 16 名 （8 名×2 ワーキング・グループ） | ① 熱中症特別警戒情報に関するワーキング・グループ 気象 3 名、環境保健 1 名、気候変動 1 名、 救急医療 1 名、行政 1 名、災害情報 1 名 ② 指定暑熱避難施設に関するワーキング・グループ 行政 2 名、環境保健 1 名、気候変動 1 名、 救急医療 1 名、災害医療 1 名、 災害心理 1 名、防災 1 名 | ハイブリッド 非公開 |

| | 目的 | 回数 | 開催時期 | 人数 | 専門分野 | 開催形式 |
|-----|-------------------------------|------------------------------|------|-------|-------------------------------------|---------------|
| 調査班 | 熱中症弱者に対するアウトリーチ活動などの自治体における検証 | 意見交換会 5 回程度＋自治体における実証 3 回を想定 | 適宜開催 | 6 名程度 | 気候変動 災害情報 災害医療 災害心理 行政等 | ハイブリッド 非公開 |